



↑タブレットを活用した中学校での授業

特集 伊万里っ子GIGAスクール構想

● 問合せ先 学校教育課学校教育係 (☎☎3185)

一人一台のタブレット
端末を利用した学習が
始まります

市においては、市立学校内における高速大容量の通信ネットワークと、児童・生徒一人一台の端末の整備を一体的に行い、従来の教育と組み合わせることで、子どもたちを誰一人として取り残すことなく、一人一人に応じた学びを実現する『GIGAスクール構想』がスタートしました。

また、新型コロナウイルス感染症などの対策として、オンライン学習などの学びを保障できる環境を実現することも目指しています。

これらの活動を通して、より良い社会と魅力ある伊万里の創り手となる『未来に羽ばたく伊万里っ子』を育成します。

市立学校の児童・生徒一人一台の端末の整備が完了し、4月から、それぞれの学校で運用がスタートしましたので紹介します。

G I G A (Global and Innovation Gateway for All)

未来に羽ばたく伊万里っ子 伊万里からグローバル（世界）へ



新しい価値やサービスが創出され、人々に豊かさをもたらす新しい社会



ソ サ エ ティ
Society5.0 を生きる伊万里っ子の育成

社会の
変化

《 5番目の社会『Society5.0』 》

1 狩猟社会

4 情報社会

2 農耕社会

3 工業社会

Society5.0 とは

人口知能やロボットなどのデジタル技術・データなどを使いながら、創造力と想像力を発揮して社会を創る。

学校教育での日常的な ICT (情報通信技術) の利活用を推進します

情報活用能力を伸ばします

情報を収集し、学習や生活に生かす力の育成

● 環境の整備

いつでも・どこでも・誰でも使うことができる

● 情報収集 → 整理 → 分析 → まとめ → 発信



効果的な学習を進めます

子どもたち一人一人のニーズに応じた学習の推進

● 個々の能力や適性に応じた学び

● 不登校児童生徒への学びの保障

● 特別支援教育の充実



プログラミング教育の推進

道筋を立てて問題を解決していく力の育成

● プログラミング教育推進のまち宣言

IT企業との官民連携によるプログラミング教育の推進



オンライン授業もできます

非常時の学びの保障

● 家庭や学校、コミュニティセンターでの学び

一斉授業、個別学習、健康観察などができます



子どもたちが使うタブレット

マイクロソフト ウィンドウズ
Microsoft Windowsのタブレットパソコンをすべての児童生徒に配備しました。
ICT教育で活用するさまざまなツールをインターネット上にプライベートクラウドを構築し、
管理しており、日常の授業での活用に加えて、非常時にはインターネット環境があればオンライン
授業を行うことができる環境を整えています。

特徴

- 衝撃に強く、水やちりを防ぐ設計になっています
- 急速充電に対応しています
- パソコンの立ち上がりが早いです
- 教科書のQRコードを簡単操作で読み取ることができます
- 将来役立つWindowsやOffice^{オフィス}の知識や技術が身につきます
- 協働学習やオンライン授業を実現できます
- インターネットクラウド上にファイルを保存できます
- インターネットに接続されていない環境にも使えます
- セキュリティ対策やフィルタリングを実施します



情報モラル教育

携帯電話やスマートフォン、SNS（※）が子どもたちにも急速に普及する中で、児童生徒が情報を正しく安全に利用できるようにするため、学校における情報モラル教育は極めて重要です。情報モラルを確実に身につけることができるよう、次の学習に取り組みます。

- ▷ 情報発信による他人や社会へ与える影響について考える学習
- ▷ ネットワーク上のルールやマナーを守ることを考える学習
- ▷ 情報には自他の権利があることを考える学習
- ▷ 情報セキュリティの重要性について考える学習
- ▷ 健康を害するような行動について考える学習

情報モラル教育に関しては、家庭の協力も大切になってきます。

※ SNSは、ソーシャルネットワーキングサービスの略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービスのことで、ツイッターやフェイスブックなどがあります。



オンラインによる情報モラル教育



変わっていく、子どもの学び



↑グループで同じ画面を共有しながら学習

中学校3年生の進路学習において、『働くこと、生きることとの未来』をテーマに授業が行われました。

今後、IoT（アイオーティー・※1）やAI（エーアイ・※2）のテクノロジーの活用がさらに進み、企業や労働者、若者を取り巻く環境が大きく変化します。

そのため、十年後に生きる未来社会をイメージし、働くことや働くときに必要となる能力について考え、未来社会で生き抜くために必要な職業観や勤労観の育成を図ること

を狙いとした授業でした。生徒たちは、タブレット端末でQRコードを読み込み、オンラインによるグループでの情報交換や話し合い活動をしなが

ら学習しました。また、理科の『生物の体のつくりとはたらき』の学習では、タブレット端末を用いて、光合成で二酸化炭素が使われることを動画などで確認することができました。

タブレット端末では、経過の観察を動画や静止画で撮影して変化を記録したり、成長の記録を表したグラフを作成

したりすることができます。観察結果を発表するときには、映像などを使って、より効果的に情報発信することができます。

※1 IoT モノのインターネットと訳されます。センサーやカメラなどがモノの状態や動きを感知したり、データを取得したりして、入手した情報をインターネットを介して伝送する仕組み

※2 AI 人間の知的行動の一部をソフトウェアを用いて人工的に再現すること



↑理科の授業で、実験の経過をタブレットで撮影する生徒

子どもたちの声

さわるのが楽しい

タブレットを使った勉強が大好きです。
文字をうまく打つことができたならうれしいからです。（小学生）

外国語の授業が楽しい

外国語の時間に、タブレット端末を使いました。自分が言った英語が、タブレットの画面に英語の文章で出てきました。楽しかったし、またやりたいと思いました。（小学生）

伝えることができました！

パワーポイントで、友達に自分の意見を伝えることができました。
使い方に慣れてきて、これからもっとタブレットを使いたくなりました。（中学生）



↑タイピングの練習をしている小学校3年生の児童

先生たちの取り組み

IGC

IGC (Imari GIGA School Circle イマリギガスクールサークル) は、GIGA スクール構想の推進について、教員が自主的に集まり、学び合うサークルです。

令和2年から活動しており、学校でのICTの活用可能性について、定期的に研修を続けています。

GIGA調整会議

学校でタブレット端末を利活用するうえでのルールづくりやシステムの改善などについて、学校と教育委員会が話し合うGIGAスクール調整会議を行っています。

ICT研究委員会

教員のICTスキルの向上を目指して、教員のスキルを把握するためのアンケートを行い、その結果に基づいて、今後の取り組みについて検討を進めます。



第1回IGCの研修の様子

伊万里モデルの研修スタイル

青嶺中学校や滝野小中学校では、校内研修会を公開して、延べ60人の教員が参加しました。各学校の研修を公開することにより、自分のスキルにあった内容の研修に参加することができる伊万里モデルの研修スタイルをつくり上げていきます。

これらの仕組みを通して、教員のスキルアップを目指しています。

学校を支えるICT支援員

GIGAスクール構想に対応したタブレットなどのICT機器を効果的に使っていくため、市内に誘致したIT関連企業などに協力してもらい、ICT支援員を配置しています。

ICT支援員は、ICTを活用した授業のサポートや、教員への指導を行います。市内企業との連携を図ることで、ICT機器の円滑な活用が期待されます。



↑市内すべての学校をサポートしてくれる心強い味方

先生たちの声

- この研修を受けるまでは、タブレット端末のことをほとんど知らず、不安な気持ちでいました。しかし、今回の研修で、タブレットを使つての授業は、さまざまな可能性があることが分かりました。子どもたちとともに、学び続けていきたいと思ひます。
 - Teams (チームズ・※) の活用のしかたについて、研修会がありました。新しい授業のスタイルや先生どうしの情報共有など、さまざまな活用ができることが分かりました。学校に戻ってから、この研修で学んだことを他の職員にも教えたいと思ひます。
- ※ Teams (チームズ) ビデオ会議などができる、ネットワークを通じたマイクロソフト社のコミュニケーションツールで、通話機能があり、ファイルを共有することもできます。



↑GIGAスクール構想の内容や活用策などを学ぶ先生たち